

原市場聖書教会

週 報

NO. 1075

年間聖句

わたしはふどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

ヨハネの福音書 15章5節



2025. 11. 9

主日礼拝

2025年 11月 9日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多節子姉
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「主の宮」	一	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「走り続ける」	一	同
使徒信条		一	同
主の祈り		一	同
賛美	聖歌338番「いともよきものを」	一	同
献金		一	同
感謝の祈り		本多節子姉	
聖書朗読	テサロニケ人への手紙第一2章13節～20節	司会者	
説教	「信じる者のうちで働く神の言葉」	若村和仁師	
黙祷		奏楽者	
賛美	聖歌500番「みことばなる」	一	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	一	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●礼拝後自家焙煎コーヒータイムがあります。



「信じる者のうちで働く神の言葉」

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

テサロニケ人への手紙第一2章13節～20節

13, こういうわけで、私たちもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたが、私たちから聞いた神のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実そのとおり神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いています。

14, 兄弟たち。あなたがたはユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会に倣う者となりました。彼らがユダヤ人たちに苦しめられたように、あなたがたも自分の同胞に苦しめられたからです。

15, ユダヤ人たちは、主であるイエスと預言者たちを殺し、私たちを迫害し、神に喜ばれることをせず、すべての人と対立しています。

16, 彼らは、異邦人たちが救われるよう私たちが語るのを妨げ、こうしていつも、自分たちの罪が満ちるようにしているのです。しかし、御怒りは彼らの上に臨んで極みに達しています。

17, 兄弟たち。私たちは、しばらくの間あなたがたから引き離されました。といつても、顔を見ないだけで、心が離れていたわけではありません。そのため、あなたがたの顔を見たいと、なおいっそう切望しました。

18, それで私たちは、あなたがたのところに行こうとしました。私パウロは何度も行こうとしました。しかし、サタンが私たちを妨げたのです。

19, 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いつたいだれでしょうか。あなたがたではありませんか。

20, あなたがたこそ私たちの栄光であり、喜びなのです。

今月のワーシップ賛美

走り続ける

作詞・作曲 中山 告

A E/G♯ F♯m D E

いま 主のみた 一まが あふれな ーがれ うごめく ー

A E/G♯ F♯m D E

主 の たみがと ーもに 主を見上 ーげる そのとき ー 主の

F♯m C♯m D F♯m C♯m D E

ここ ろを あらわすたーめー わたしをーいまーき よめーーてー

A E/G♯ F♯m A/C♯ D A/C♯ Bm E

主よ あなたをー あいしもーとめー すべてをーいまーささげるー

A E/G♯ F♯m A/C♯ Bm E A

あなたのーかおー 見るときーまでー はしりつーづけーるー

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖靈によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬^{ほうむ}られ、陰府にくだり、

三日目に死人の内よりよみがえり、

天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。

我は聖靈を信ず。聖なる公同の教会、

聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ われらの日用の糧を

今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを

われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ

われらを試みにあわせず 悪より救いいたしましたまえ

国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ 2025年11月5日御言葉

ヨハネの手紙第一 1章 5節～9節

5, 私たちがキリストから聞き、あなたがたに伝える使信は、神は光であり、神には闇が全くないということです。

6, もし私たちが、神と交わりがあると言いながら、闇の中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであり、真理を行っていません。

7, もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。

8, もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。

9, もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

聖書 新改訳 2017 ©2017 新日本聖書刊行会より引用。

●この当時のユダヤ人の律法の専門家たちは、自分たちこそが律法の専門家であり、律法を守り、儀式を重んじていると自負していました。

しかしその反面、「隣人を自分自身のように愛しなさい」という律法の本質を、実際には行っていなかつたのです。

神の言葉を語る存在でありながら、その姿は外から見るとただ立派で、近寄りがたい、敷居の高い存在となっていました。

第一のポイントは、「神は光である」ということです。

ヨハネは、神と交わりがあると言いながら闇の中を歩む律法学者たちに、「あなたがたは本当にすべてを神の光に照らしているのか」と問いかけています。

私たち人間の弱さは、自分の自信のある立派な部分だけを神の前に差し出し、自分では解決できない弱さを隠してしまうことではないでしょうか。

私たちは、神の光の前に出ていくことが大切です。

そして、光の中を歩むなら、御子イエスの十字架の血が、私たちをすべての罪からきよめてくださると語られています。

もし私たちが、「自分には弱さや罪がないから神の光は必要ない」と思うなら、それはまるで「病院の定期検査を全く受けずに、気づいたときには病が全身に広がっていた」という状態に似ています。

人は、神という光のもとに出ていく必要があります。

そこでは、自分のありのままの姿を見つめ、心の汚れに気づかせていただけるのです。これが第一のポイントです。

第二のポイントは、「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての不義からきよめてくださる」ということです。

私たちは、光である神の言葉から離れず、示された罪を素直に告白し、悔い改め、神の愛によつてきよめられる者でありたいと思います。

自分の弱さや罪を隠さず、神の前に差し出し、イエス・キリストの十字架の愛によって日々きよめられていく、そのような歩みを続けていきたいものです。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

- 11月24日（月）は今年もオープンチャーチを行う予定です。
当日奉仕できる方は、牧師または牧師夫人にお声掛けください。
- 11月23日（日）はオープンチャーチの準備兼、教会大掃除を行います。
奉仕できる方ぜひご協力いただけましたら感謝です。
- 12月13日（土）「飯能日高市民クリスマスコンサート」飯能市民会館小ホールにて。
ゲストは、岩渕まことさんご夫妻が来られます。市民クリスマスクワイアも募集します!
詳しくは10月にチラシを配布いたします。
- 本日礼拝後に第5回の聖書の学びを行います。テーマは
「ルカとは何者なのか——イエスに会わなかつた福音書記者、その信仰と謎」
20分ほどの短い学びです。ご自由にご参加ください。 担当：本多崇兄

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・11月11日（火）～11月14日（金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗&原市場）
- ・11月13日（木）午前～お昼 cafe &コンサート （場所：鳩ヶ谷福音自由）
- ・11月13日（木）18時～20時 hi-b.a. 川越集会 （場所：ウェスター川越）
- ・11月15日（土）夕方 体育協会会議 （場所：行政センター）

本日午後の予定

★礼拝後コーヒータイムがあります。ご自由にお交わり下さい。

次週主日礼拝（11月16日）

司会：本多崇兄
聖書：テサロニケ人への手紙第一3章1節～13節
説教：「弟子を心配し、祈り、励まし続けるパウロ」若村和仁師
奏楽：本多こずえ姉
讃美：ワーシップ賛美「どんな高価な宝よりも」「走り続ける」
聖歌253、聖歌589、聖歌383
受付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：本多志依姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
11月2日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	6人			
	礼 拝	6+0人	5+0人	10+5人	26(21+5)人
		(※各集会「対面+オンライン」表記となります。)			
	夕 礼 拝			希望者がおられませんでした。	
11月5日(水)	祈 り 会	0人	1人	2人	3人

集会案内

11月11日(火)	赤毛のアン（手芸＆洋裁クラス）会費：500	10:00～13:00頃
11月12日(水)	祈り会	10:30～12:00
11月16日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:10
	礼 拝	10:30～12:00
	クリスマスクワイアー練習会	14:00～16:00

頌 帯
聖歌383
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
 Tate and Brady, c. 1200 (C.S.)

ONIONYME
 THOMAS HASTINGS, 1811

ちちみこみたまのおおみかみに一とこしえか
 わらすみさかえあれーみさかえあれーアーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス*	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のアソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハルカキッススペシャル		
ひと月一回(日曜か土曜日)		14:00-16:00



原市場聖書教会

〒 357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL: 042-977-0254

FAX: 042-981-7200

牧師: 若村和仁